

社会教育関係職員等研修会

7月31日（土）、大河原合同庁舎を会場に、社会教育関係職員等研修会を開催しました。この研修会の趣旨は、社会教育に関する専門知識の習得や事業推進の心得と、技能等の養成をとおして公民館等施設職員・社会教育関係職員としての資質の向上を図ることです。管内からは、経験豊富な職員から初任層の職員が集い、社会教育・生涯学習やまちづくりについて理解を深めました。また、今年度は、仙南青年文化祭実行委員（青年層）の研修機会として位置付け、青年層の学びの機会を創出しました。

講話では、認定 NPO 法人底上げ 理事兼事務局長 成宮崇史氏から「青少年・青年の関わりと地域づくり」と題して、青少年・青年層を中心とした多世代交流、マイプロジェクト、探究学習コーディネート、地域としてのまち大学構想等、人と人、人と地域をつなぐための多くのヒントをいただきました。取り組んだワークでは、参加者が笑顔で交流するとともに、自市町の現状と課題について情報交換を行いました。



認定 NPO 法人底上げ

理事兼事務局長 成宮 崇史 氏



講話「青少年・青年の関わりと地域づくり」

【参加者の声】

- 私は東北大学社会教育主事講習を受講していて、気仙沼で活躍されている成宮さんのことを知り、直接お話をお伺いしたく参加しました。成宮さんの10年間の取組はすごいと思います。とても参考になりましたし、これをきっかけとして、自分の町で実践していきたいと思います。機会があれば気仙沼に行って成宮さんの活動を直接拝見してみたいです。
- 地域活動をしている身としても、とても有意義な講演でした。次世代の育成をする立場にもなっているため、また機会があれば講演を聞きたいです。
- 本気で地域に関わっている成宮さんの話を聞いて参考になりました。今後のボランティア活動に活用していきたいです。また、この話を後輩に伝えて、ジュニア・リーダーの育成にも力を入れていきたいです。
- 成宮氏の講演を聞き、私自身もジュニア・リーダーの主担当として中高生との関わりがあるので、今後の業務へ学んだことを生かしていきたいと思いました。

- 4ステップ (IN~with)の話で「about」で終わってしまうことが多いことが非常に共感できました。また、見極めの部分で「その子にはどこまでできるのか？」という話は、子どもたちに対してだけでなく、職場でも同じことが言えると思います。上司・先輩が部下・後輩に対して、どこまで役割を預けていくのかというのも、これに似ているのではないかと。
- 「自分で考える、動く」という意識を育む場が、どんな場が理想か、改めて考えさせられました。「Society5.0」の話も、今後の社会で人のつながり方、人生を生きていくための要素が変化していくことから、新しい視点でのまちづくり、若者の人材育成を考えていけるといいなと思いました。今日のお話、とても聞きやすく、共感するものが沢山ありました。ありがとうございました。
- 気仙沼での活動について詳しく説明されて、とても勉強になりました。自分の町へ持ちかえり、青年教育へも当てはめて活動してみたいです。
- 気仙沼市のマイプロジェクトの仕組みを知るうえで「地域を育てる4ステップ」は自分の事業組み立てにも参考となりました。また、参画者においてもすべて一人に任せるのではなく、質のよい問いを投げ、「待つ」を実践することで参画者の意識改革につなげたいです。今日は貴重な講話を聞くことができました。
- 日々の何気ないことにも「問い」をもって生活しようと思いました。私は考えるということが苦手だと自負しています。何か行動するためにもまずは「問い」を持つことから始めようと思います。
- 高校生からじゃ遅いと思い、小中学生のころからこのような取組をするように切り替えたのがすごいと思いました。自然体で取り組むアワードは面白いと思いました。個人的にはカードゲーム面白かったです。
- 「地元で何か達成し周りから評価」「生きる喜びをすべての若者に」スライドの中にあった文、何か印象に残りました。
- 気仙沼市の事例についてや、地域づくりとの関わりなど、とても貴重なお話を聞くことができ、今後の参考となるようなことばかりでした。学校や他団体等との連携を密に、中高生向け事業や地域で育てる4ステップがとても印象に残りました。
- 「地元で根付くこと」がなくなっている中で、とても参考になるお話でした。4ステップの話では、In Aboutで終わってしまっていること、とても実感していて、高校生から急に意識が変わることが難しいというのも、ハッとさせられました。小中高・社会人、地域全体で生涯の流れの中で組み立てていくことが大事なんだと感じました。また、「見極め」も、ジュニア・リーダーを担当していて、自主的に活動してもらうことを意識するあまり、パニックゾーンの活動をさせてしまったことかなと反省しました。見極めと、その子の成長を考えながら働きかけていきたいなと感じました。
- 自分の地域でも小学校が今年の3月に閉校し、跡地利活用について住民と話し合い、進めていくことになるが、若い人たちを取り込み、意見を聞く機会をつくりたいと思った。世代間交流の大切さを、どのように進めていくか参考にしたい。
- 中学生と高校生の活動の他に、青年の活動についても話してほしかった。
- NPOで活動を始めようとしていたところ、いい機会にめぐまれた。大変面白い話が聞けて良かったです。
- 自分のインプットをどんどん増していきたいと思える話で、あっという間の90分でした。

○若者に地域愛を育ませるうえで、貴重なこと（will can do やゾーンの見極め）が多々あり、今後に活かしていける部分を多く感じました。また、気仙沼市の取組もとても参考になると感じました。

○昨年まで私自身が高校生だったので、学生の立場で物事を考えさせられました。地域に関わる機会は何度かあった記憶はありましたが、その時に「楽しい」ではなく「めんどくさい」と思ったのを覚えています。子どもと地域の接点を上手くもたせられないのが問題なんだなあと感じました。とても楽しく学びになる時間でした。

○とても参考になるキーワードが沢山あり、わくわくしながらお話を聞いていました。自分で課題を設定して探究していける環境はとても魅力的なことだと思いました。また、自分自身のネットワークを広げておくことはとても大事なことだと改めて成宮さんのからのお話で認識することができました。

○気仙沼市の実践、日々の業務の中で非常に参考にさせていただいています。そのうえでやはり生で聞いてみないとわからなかった発見も沢山あったように思います。少しずつ整理しながら、次は実際にうかがって現場を見学してみたいと思っています。

○行政の職員として参加しました。私も地元の学生など、将来的に町と関わってくれる人を育てたいと思っています。今日の研修会でなんとなくヒントが分かったような気がします。参加してよかったです。

○地元の良さや魅力などを発見するきっかけに必要なことが分かり、大変参考になりました。町の成人式に結び付けられれば良いなと思いました。

○官民の連携について参考となりました。

